

R01 年度 測量士試験 問題と解答 午前 No22 (地図編集)

<R01-No22 : 地図編集 : 問題>

次の a～e の文は、地図投影法について述べたものである。明らかに間違っているものだけの組合せはどれか。次の中から選べ。

- a. 地図投影法とは、立体である地球の表面を平面の地図に表すための方法のことを指すが、必ず何らかのひずみが生じるため、表現したい地図の目的に応じて投影法を選択する必要がある。
- b. 正距図法で作成した地図は、世界全体や大陸規模のような広い範囲における植生、人口などの分布図・密度図を示す場合に用いられている。
- c. 正角図法は、地球上と地図上との対応する点において、任意の2方向のきょう角が等しくなり、ごく狭い範囲での形状が相似となる図法である。
- d. 国土地理院がインターネットで公開している地図情報サービス「地理院地図」は、極域の一部地域を除外した範囲をメルカトル投影の数式を使って作成した地図画像を使用している。
- e. 正距方位図法で作成した地図は、地図上で選んだどの点においても距離と方位が正しく表現されている。

- 1. a, b
- 2. a, d
- 3. b, d
- 4. b, e
- 5. c, e